



SNSで
裏垢特定した人妻を
ハメまくった話!

自分で言うのも
あれだが……

俺はこの1年間で
真面目に生活して
きたと思う。

前の職場を
奔放な女性関係が原因で
首になってしまった。

新卒からずっと働いてきた職場を
クビになったのはさすがにショックで
その後は自分でも驚くほど
清く正しい生活を送っていた……

そんな真面目になった俺の密かな
楽しみはスマホでエロい裏垢を
あさる事だった。

ふーこれは……

そこで見つけた
あるアカウントに
俺は夢中になってしまった。

一見すればどこにでも
ありそうな人妻の火遊び用の
裏アカウント……

しかし彼女が裏垢に投稿する
誘うような自撮りの数々に
俺はどんどん夢中になっていった。



彼女が写真をあげると
俺はすぐにいいねを押し
RTして拡散する……

一年以上、女性と無縁な生活を送っていたせいか
彼女への依存と執着が俺の中で次第に
大きくなっていくのを感じていた。

そんなある日
俺に奇跡が訪れた……





雑踏の中でもひとときわ目立つ
綺麗なロングヘアのシルエット…。

俺から毎晩、精を搾り取った
被写体が颯爽と俺の前を通り過ぎた。



まるで女性を知らない中学生のように
彼女を見付けた俺は激しく動揺し
鼓動と呼吸が乱れた……。

俺の膝はガクガクと震え
今にもその場に崩れ落ちてしまいそうになった。



散々、スマホの画面越しに夢中になった
彼女の丰满な乳房、あそこの形は
服ごしでも有り有りとイメージできた。

正直、この後の俺の行動は明らかに
常軌を逸脱していたと思う…。



俺の存在に気づいていない彼女を尾行し
住居を特定した後、迷わず仕事を辞めて
彼女と同じマンションに引っ越したのだ。



その理由はたったひとつ。
俺を夢中にさせたこの女を
手に入れるためだった……。



SNSで
裏垢特定した人妻を
ハメまくった話!

彼女の名前は
「桐敷瑠衣(きりしきるい)」

毎朝夫と子供を送り出した後、
週に2回プールか街中でのランニングで
汗を流している。

ただ、プールは思いのほか
人通りが多く声をかける
タイミングが見つからない。

俺は頻繁にランニング後の
彼女と同じエレベーターに
同乗し声をかける機会を
うかがった……

ハア

ハア

ハア

ランニングを終えた彼女と同じ
エレベーター内に入ると
狭い室内いっぱい彼女の匂いが充満する。

女性として良い香りだけでなく
彼女の首すじ・脇・胸・あそこから
汗と共に漂ってくる雌のフェロモンが
どうしようもなく俺を興奮させた……

すでに複数回、彼女とエレベーターで
同席しているがいつも邪魔が入り
声をかけるタイミングが無かった。





しかし今、このエレベーターには
彼女と俺以外は誰も乗っていない。

彼女の胸の感触……っ
あそここの匂い……っ
汗と唾液の味まで
彼女の全てを味わいたいっ。

俺の溜まりに溜まった性欲は
もう限界値を超えていた。

俺は今日、今から、
彼女を追いかけて
声を掛けることに決めた。



桐敷さん……
俺が何を希望しているか
理解されていますか？

そう言うとな彼女は全てを悟ったような……
あきらめた表情を浮かべ
何も言わずにその豊かな肉体を
俺の前にさらけ出した。



彼女がその肢体をさらすと
玄関に彼女の汗と女性の匂いが充満し
俺にほんの少し残っていた理性を
あっという間に吹き飛ばした。

邪魔するものはもう何もない。
なんのためらいもなく
俺は彼女に襲いかかった。







俺に乱暴につままれて
赤く腫れあがった乳首…。

唾液で汚れた唇…。

彼女の苦悶に満ちた表情の全てが
俺の嗜虐心を刺激し
さらなる暴走へと駆り立てた。

気づけば俺は
彼女の意志などお構いなしに
いきり立ったペニスを彼女の前に
さらけ出していた。





それじゃあ……
フェラでも
してもらえますか？

メッ

シクッ



フェラ、フェラ
しますから……
これで……

はー！

はー！

ぬるー

これで……
許してください……

はー！



彼女の口腔内はねっとりとした濃厚な生クリームのような感触で俺のペニスを温かく包み込んだ。



びつたりと密着した舌先は、前後運動のたびに根元から裏筋、亀頭の先端まで舐めあげられ、あつという間に射精感が高まってきた…。

さすがの人妻テクニクだった。





彼女は喉奥に大量の精液を放出され
まるで嘔吐でもしたかのように吐き出していた。

だが、俺のペニス
は硬く勃起したま
まだった。

彼女の膣内に挿入したいっ

彼女の膣内の粘膜に。ペニスをこすりつけ、彼女の子宮に大量射精したいという強い衝動だけが俺の頭を支配していた。







ギョウウウッ

セクッ

ズンッ

だめえ...っ!

ゴロッ

セクッ

ああ...っ

はあ

はあ

はあ

こんな事...
うん...っ

ズンッ

はあ

ああ...っ

はあ

セクッ





あっ

は...

あーもう我慢できな
味のわエロまんこしっ
わせてもらおうわっか

はっ

ヤルヤル



俺のちんこ...
桐敷さんの愛夜でぐちよぐちよ
なんだけど...

は...

ぐり
ぐり

あっ

ぐち

はっ



やめて...っ

だだっ

これ...以上は
もう...っ

もう...っ
やめてえ...っ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

かかか

はっ

ぐちゃ

はっ

は...













お、お願い...
もう許して...

は...

許して...

えーっ
俺はまだ全然
イケるんだけどっ

は...

あっ

あっ

は...

またイクッ

イクッ

いっしょにイクッ

はいっ今日2回目の
中出しっっ

あっ

いっしょにイクッ

いっしょにイクッ

ビュルルルルルル

あーん

あーん



大丈夫。
俺が満足したら
もう来ないから

は！

は！

桐敷さんは気にせず
イキまくってれば
いいんだよ



ビクッ

んッ

んッ

んんッ

んんん



あれ？桐敷さんのまんこ
また締まって来たじゃん
本当Gスポ弱すぎw

あッ

はあッ

イほ
ケら
っっ

イ
ケっ

はあッ

バ
キ
ュ

バ
キ
ュ

バ
キ
ュ

バ
キ
ュ

バ
キ
ュ



あー

はぁ

はぁ

はぁ

あー

はぁ

あぁあ

はぁ

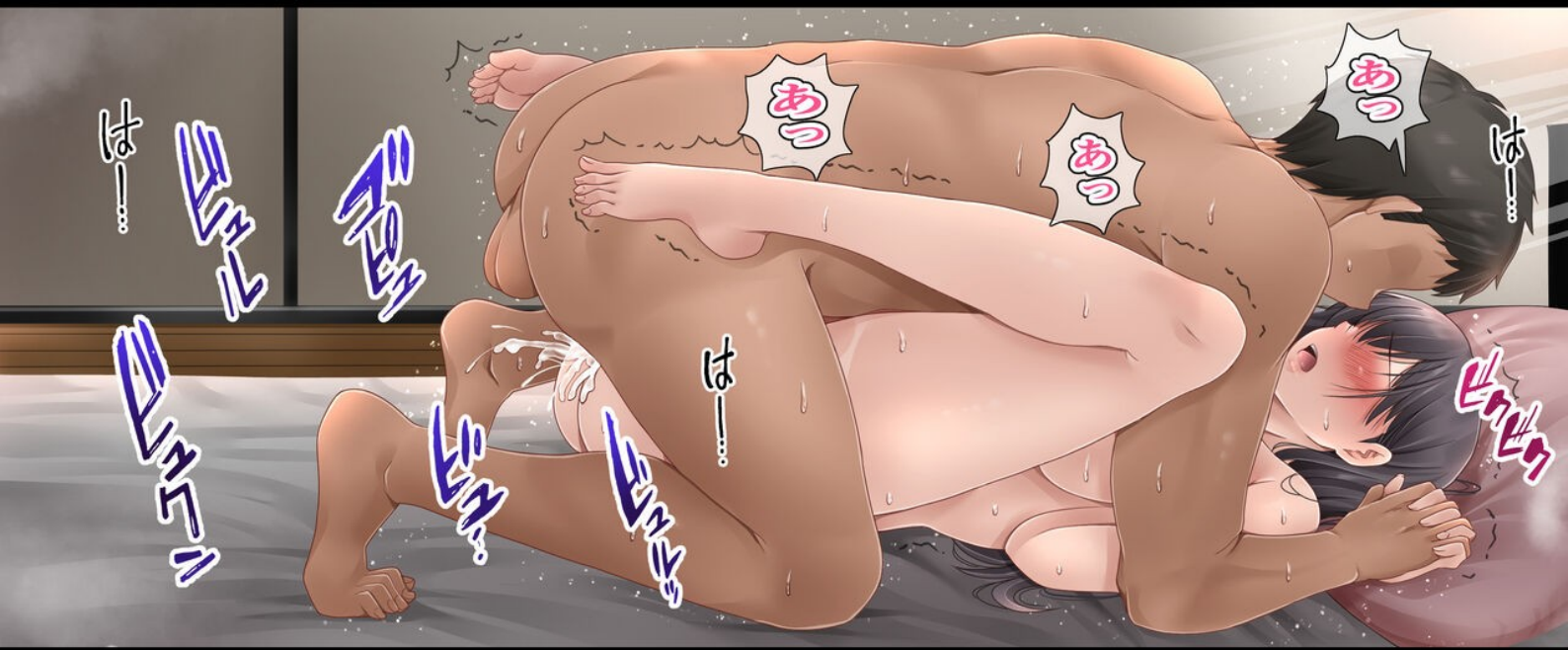
びゅる

びゅる

びゅる

びゅる

びゅる





いやー桐敷さんのまんこ
最高に気持ち良かったあ

あ……っ

あああ……っ

これだけ桐敷さんに射精させて
もらって悪いんだけど……
まだまだ満足できなかったわW

は……

ハッハッハッ

は……

ハッ

ハッ

ハッ

は……



それじゃ桐敷さん
また明日ねっ

そ、
そんな……っ

ハッハッハッ

は……

は……

は……

大丈夫っ
俺が満足したら
もう来ないからっ

SNSで

裏垢特定した人妻を

ハメまくった話。

END











































はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はあ

ぬるん

はっ

はっ

はあ

どろろ

はっ

はあ





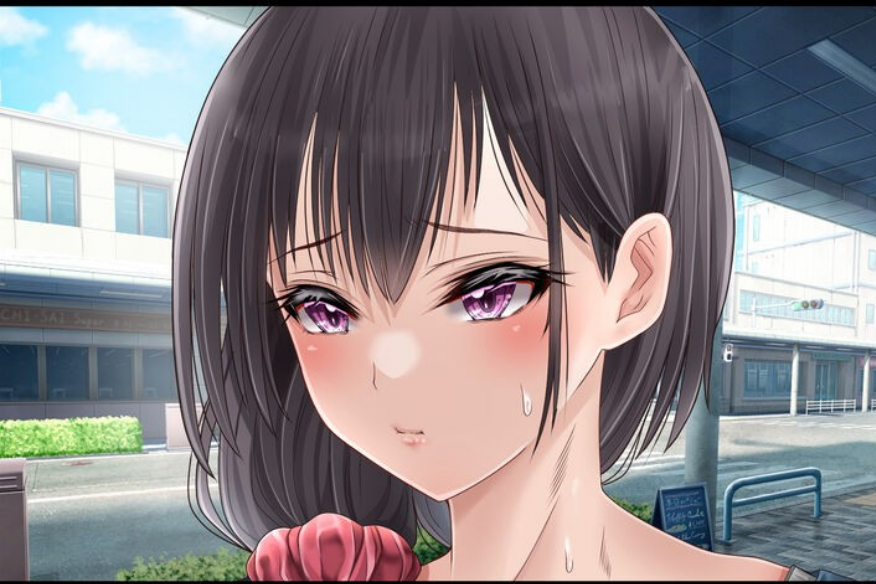






























はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ





